



2026年3月24日  
東日本旅客鉄道株式会社  
株式会社 JR 東日本クロスステーション  
信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会

## 小千谷発電所を一般公開します

- JR 東日本は、2026年4月29日（水・祝）に、信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会主催の「信濃川河岸段丘ウォーク」※<sup>1</sup>開催に合わせ、小千谷発電所を一般公開します。普段は公開していない発電所の施設見学や、ミニ新幹線乗車コーナー、メンテナンス車両体験乗車コーナー、ステージイベントを用意しています。
- JR 東日本クロスステーションは、小千谷発電所一般公開に初めて参画し、十日町すこやかファクトリー※<sup>2</sup>のブランド「TOIRO®」のスイーツを販売します。あわせて、列車荷物輸送サービス「はこビュン」を活用し、当日の朝焼き上げた「東京あんぱん豆一豆」「デジイ東京」のパンをお届けします。
- 事前申込は不要ですので、ご家族・ご友人でお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

※1 「信濃川河岸段丘ウォーク」は、「信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会」が主催する日本市民スポーツ連盟（IVV-JAPAN）公認のウォーキング大会です。（詳細 HP：<https://skd-walk.com/>）

※2 JR 東日本グループの地域再発見プロジェクトの取り組みの一環として、新潟県十日町市に2014年9月に開業した洋菓子の製造工場です。小麦・卵・乳成分を使用しない食物アレルギー対応専用ラインがあるのが特徴で、「十日町産魚沼コシヒカリ」の米粉100%のケーキをはじめとした洋菓子を製造しています。

1 開催日時 2026年4月29日（水・祝）10：00～15：00（雨天決行、荒天中止）  
※最終入場は14：30まで

2 場 所 JR 東日本 小千谷発電所 [ 新潟県小千谷市山本 316 番地 ]  
※JR 上越線「小千谷駅」より車で約10分

### 3 内 容

- (1) 小千谷発電所設備見学  
小千谷発電所の発電機施設、写真パネル展など
- (2) ミニ新幹線乗車コーナー  
ご家族で乗車できるミニ新幹線の乗車体験
- (3) 駅長服を着用して記念撮影  
お子さま向けに駅長や越乃 Shu \* Kura 乗務員制服を着用し記念撮影



小千谷発電所 外観



小千谷発電所 設備見学

(4) メンテナンス車両乗車体験コーナー

鉄道メンテナンス車両に乗車できる貴重なチャンス

(5) JR 東日本クロスステーション 飲食販売

十日町すこやかファクトリー「TOIRO®」のスイーツや、東京駅構内の人気ベーカリー「東京あんぱん豆一豆」「デジイ東京」のパン、acure の飲料等の販売



メンテナンス車両乗車コーナー



米粉ろおる  
(TOIRO)



東京レンガぱん  
(東京あんぱん豆一豆)



粗挽きフランク  
(デジイ東京)

小千谷発電所一般公開では初めての取組みとして、当日の朝に焼き上げたパンを、「はこビュン」にて新幹線で長岡駅へ輸送※し、本会場にて販売します。(11 時頃より準備でき次第販売開始)

※とき 307 号 (東京 8:22 発 → 長岡 9:58 着) にて輸送予定

※商品数に限りがあるため、売り切れとなる場合がございます

【はこビュンについて】

速達性・定時性に優れ、環境にも優しいという鉄道の強みを活かし、JR 東日本グループが展開している荷物輸送サービスです。鉄道によって地域とモノをつなぐことで、地域の魅力発信を行い、人々の豊かな暮らしづくりや社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

「はこビュン」の具体的なサービス、お申込み方法については株式会社ジェイアール東日本物流のホームページをご参照ください

[はこビュン | サービス | ジェイアール東日本物流](#)



(6) その他

アトラクションコーナー、射的やわなげ、エアー遊具、ステージイベント（ライブ、カラオケ大会、実験ショー、マジックショー）、模擬店コーナーなど

4 留意事項

- ・信濃川河岸段丘ウォークに参加せず、小千谷発電所のみ見学も可能です。
- ・「信濃川河岸段丘ウォーク」に参加される方で、小千谷発電所一般公開の見学を希望される場合は、小千谷発電所近傍がコースに含まれる「津南 50 km・川西 25 km・小千谷 12 kmコース」をご利用ください。
- ・車でお越しの場合は駐車スペースに限りがありますので、お待ちいただく場合があります。
- ・小千谷発電所一般公開に関するお問合せは JR 東日本信濃川発電所 (0258-82-2702) までご連絡ください。

(参考) 小千谷発電所について

JR 東日本信濃川発電所では千手発電所、小千谷発電所、小千谷第二発電所の3発電所を運用しています。千手発電所は新潟県十日町市、小千谷発電所、小千谷第二発電所は小千谷市にあり、信濃川水系から取水した水を利用している水力発電所です。ここで発電した電気は、首都圏や上越線、新幹線の電車や鉄道施設などに送られており、当社の基幹事業である鉄道事業を支えるエネルギー源として重要な役割を担っています。また、水力発電は二酸化炭素(CO2)を排出しない環境に優しいクリーンなエネルギーです。

<https://www.jreast.co.jp/shinanogawa/discharge.html/>

### ■TOIRO®(十日町すこやかファクトリー)

JR東日本グループの地域活性化の取り組みの一環として新潟県十日町市に2014年9月に開業した食品工場です。十日町市をはじめとした地域の食材を活かしたお菓子を、心を込めて製造。オリジナルブランド「TOIRO」の商品は、首都圏の駅弁屋や冷凍スイーツ自販機、JRE MALL、十日町エリアの店舗等で販売しています。



#### 【主な販売商品】(税込)

- ・米粉ろおる(各種) : 450円
- ・FRUITS SNOWBALL : 1,600円
- ・米粉スノーボール : 480円



米粉ろおる(スノーホワイト)



FRUITS SNOWBALL

### ■東京あんぱん豆一豆(JR 東京駅:グランスタ東京1F 京葉ストリート)

東京駅丸の内駅舎の「赤レンガ」をモチーフにした、看板商品の「東京レンガぱん」は、小豆を練り込んだ生地、こしあんと相性の良い「白あんホイップ」を重ねた2層構造の味わい深いパンです。



#### 【主な販売商品】(税込)

- ・東京レンガぱん(白あんホイップ&あんこ) : 400円



東京レンガぱん

### ■デイジー東京(JR 東京駅:グランスタ東京 1F 八重洲北口改札内)

1962年に埼玉県川口市で創業。現在は関東で10店舗以上(川口、蕨、東京駅、池袋、麴町など)を展開する地域密着型の人気店です。コンセプトは「日常的に食べるなら、やっぱり日本のパン」。欧州の伝統を尊重しつつ、日本人の口に合う「安心する美味しさ」を追求しています。創業以来、粉から生地を作る「オールスクラッチ」にこだわり、長時間熟成発酵で旨味を引き出したパン作りを行っています。



#### 【主な販売商品】(税込)

- ・チュロス : 300円
- ・粗挽きソーセージ : 400円



粗挽きソーセージ

### ■acure made <アキュアメイド>



エキナカで自動販売機を中心に展開している acure<アキュア>のオリジナル飲料ブランド acure made <アキュアメイド>

#### 【主な販売商品】

- ・青森りんご
- ・谷川連峰の天然水
- ・日本の茶事



「アキュアの自販機」はJR 東日本エリアのエキナカを中心に約9,000台を展開中